

緩衝制御付スポーツ床

システムコントロールフロア[®]

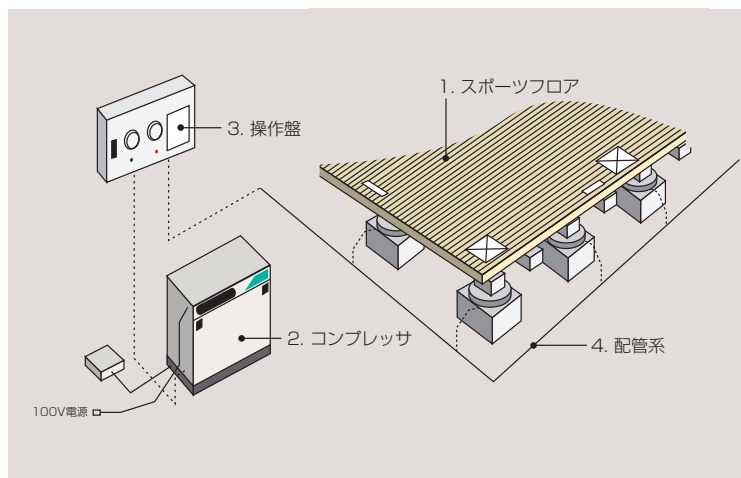
PAT.



新・環境エンジニアリングを目指して

yacmo

構成・機能



システムコントロールフロアは、空気ばね式緩衝装置『フロアアトラス』を使用し、床全体を浮上させ、柔道や剣道などのスポーツに適した床弾性にあわせる事ができる緩衝制御付スポーツフロアです。

本システムは大きく4つの部分から構成されます。

1. スポーツフロア
2. コンプレッサ
3. 操作盤
4. 配管系

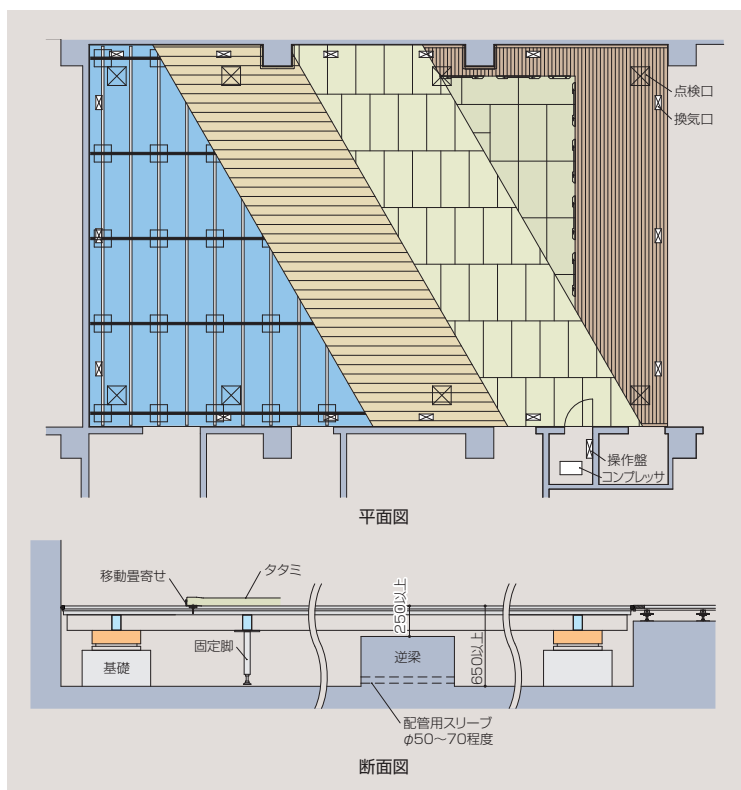
1. スポーツフロア

スポーツフロアは空気ばね式緩衝装置『フロアアトラス』、大引等の下地材とフローリングの他、畳等の仕上材によって構成されています。床の制御は操作盤にて行い、供給空気を抜くことで緩衝性のない固定床とする事も可能です。

床レベルについては弾性時は7mm程度の「あそび」があります。固定床切替え時は15mm程度下降します。

空気ばね式緩衝装置や配管系の点検のため、床下点検口が必要になります。

点検口の寸法は□600×600とし、30㎡に1ヵ所もしくは、逆梁により区画される場合は、区画ごとに2ヵ所を目安として下さい。



2. コンプレッサ

空気供給源としてコンプレッサ（低騒音型）を使用しています。
 コンプレッサ本体の寸法は、w700 × d540 × h910 です。
 電源は 100V、12A 通常、63A 起動時、コンセント形状 3 つ穴アース付きが必要です。
 供給空気の水分除去のため、オートドレンを接続しています。
 排水のためドレン管の設置が必要です。

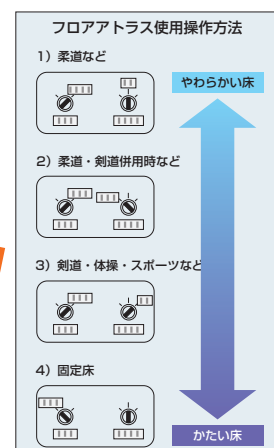
コンプレッサの設置スペースは最低限左右背面 30cm、前面 1m 必要です。
 （ただし、前面は扉が開放できる場合は 30cm）
 本体はコンクリートスラブまたは基礎にアンカー止めします。

必要換気量は 3 ~ 4m³/min です。給気口を設けてください。
 室温検知スイッチ（28℃以上）と連動して作動する換気扇の設置をお奨めします。



3. 操作盤

フロアアトラスの制御は、
 操作盤の 2 つのつまみにより
 簡単に行う事ができます。



4. 配管系

システム内は、ゴム管・鋼管等の空気配管で接続されています。
 操作盤―道場床下間には配管用スリーブφ 30 2本 が必要です。
 道場床下内において逆梁により区画される場合は、配管用スリーブφ 50 ~ 75 程度
 2本 / 区画が必要です。

性能

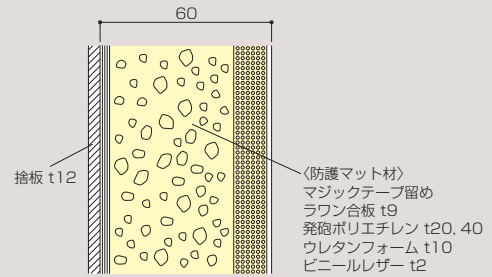
許容積載荷重 弾性床1000N/m² (100kgf/m²)
 固定床3500N/m² (360kgf/m²)

柔道畳を 10 枚以上積み重ねた場合、上記積載荷重を超えてしまい、故障の原因となります。

防護マット



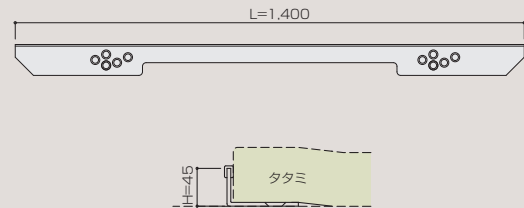
〈基準構成〉



移動畳寄せ



〈標準タイプ〉



取扱代理店

yacmo ヤクモ株式会社
 一級建築士事務所登録 第48478号
 計量証明事業登録 第705号
 建設業許可番号(般-22)第19072号

本社・東京営業所 〒141-0032 東京都品川区大崎5-4-18
 TEL 03-5496-7555 (代) FAX 03-5496-5888
 大阪営業所 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-9-11 (アイ・プラス江戸堀)
 TEL 06-4803-8851 (代) FAX 06-4803-8852
 名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 (EBSビル)
 TEL 052-961-3851 (代) FAX 052-961-3841
 那須工場 〒329-2746 栃木県那須塩原市四区町741
 TEL 0287-37-5666 (代) FAX 0287-37-5667

<http://www.yacmo.co.jp>